

蒸し暑い日が続きますね。保育園ではお盆が明けてから高い熱の出る風邪が流行っています。夏の暑さに疲れる時期でもあります。様子がいつもと違うな、と思ったら早めに対処をしましょう。

発熱



病気や体の異常を知らせるサインであると同時に、体内に侵入してきた細菌やウイルスと戦って免疫力を高め、体を守っている最中の状態でもあります。

お家でのケア

○水分補給

脱水予防に水分補給は必要です。少しずつでよいのでこまめに与えましょう。
冷たいものばかり与えるとお腹を壊してしまうので、常温か少し冷たい程度にしましょう。



○食事

食欲があれば、のど越しが良く、消化に良いものを与えましょう。
乳児で食欲がない場合は、1回の量を減らし、回数を増やして与えてみましょう。



○衣服

熱の上がり始めで寒がっている時は保温し、熱が上がりきったら薄着に着替えます。

○冷やす

熱を下げることはできませんが、体の苦痛を減らす効果があります。
動脈が通る首の付け根や脇の下、股の付け根などを冷やすと効果的ですが、本人が気持ちいいというところを冷やしてあげましょう。

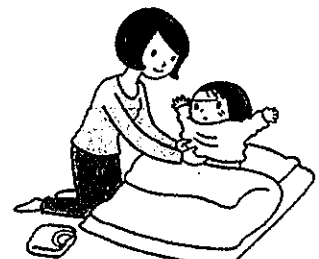


○汗をかいたら

ぬるま湯に浸し固く絞ったタオルで体をふいてあげましょう。

現在長岡市では、「特別警報」が発令されております。

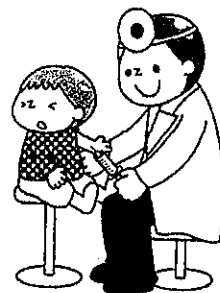
コロナウイルス対策として、平熱より1℃高かった場合、38℃に満たなくてもお迎えをお願いしております。そして医師の指示のもと、平熱で1日過ごせることを確認してからの登園をお願いしております。ご了承ください。



予防接種について



予防接種は自然に感染すると重症化しやすい病気に対して作られています。病気にかかる前に免疫をつけたり、感染を防いだり、かかってしまっても軽く済むようにするものです。



お子さんの各予防接種が済みましたら、その都度「予防接種連絡票」（保育園玄関に置いてあります）に記入して担任へ提出してください。

副反応について



抵抗力をつけるためにワクチンを接種するので、それに対して何らかの反応が出る場合があります。気になる症状については接種をした医師に相談してみましょう。

BCG……………わきの下のリンパが腫れる
4 種混合……接種部位の発赤、腫れ、しこり
MR……………発熱、発疹、リンパ節の腫れ
ヒブ……………部位が赤くはれる、しこりになる
おたふくかぜ………発熱、耳の下が腫れる
インフルエンザ………部位が腫れる、微熱や体のだるさ など



接種後の登園について

接種後に活発に動いたり、疲れるようなことがあると、副反応が出やすくなる場合があります。未満児のお子さんの場合は、保育園という家と違う環境にいただけで刺激を受けますので、接種した日は出来るだけお休みをお願いしたいと思います。

3 歳児以上のお子さんでも同様ですが、どうしてもお仕事の都合で登園を希望される場合は、医師にそのことを伝え、許可をもらっていただきたいと思います。

登園後、副反応が強く出た場合、症状によってはすぐにお迎えをお願いいたします。ご協力よろしくお願いいたします。

